

# 平成19年度 高岡市万葉歴史館 学習講座内容

## 万葉集をよむ 全11回・20単位 すべて土曜日

『万葉集』を巻頭から順番に読み解いています

本年度は万葉集の巻五を読み解いていきます。大伴家持の父である大伴旅人(おおとものたびと)や山上憶良(やまのうえのおくら)といった人々の人間味あふれる歌の世界を探っていきます。

- ① 4月14日 793～799番 新潟経営大学教授 西澤一光  
報凶問歌、日本挽歌
- ② 5月12日 800～805番 新潟経営大学教授 西澤一光  
惑へる情を反さしむる歌、子らを思ふ歌、他
- ③ 6月2日 806～814番 主任研究員 新谷秀夫  
「竜の馬」贈答歌、「梧桐の日本琴」歌群、「鎮懐石」の歌
- ④ 7月7日 815～852番 研究員 田中夏陽子 「梅花の宴」歌群
- ⑤ 8月4日 // 研究員 田中夏陽子 //
- ⑥ 9月8日 // 研究員 田中夏陽子 //
- …10月休み…
- ⑦ 11月10日 853～875番 主任研究員 関 隆司 「松浦河」関連歌群
- ⑧ 12月1日 // 主任研究員 関 隆司 //
- ⑨ 1月12日 876～891番 主任研究員 新谷秀夫  
書殿にて饞酒する日の歌、「熊凝」関連歌、他
- ⑩ 2月2日 892～896番 館長 小野 寛  
貧窮問答歌、好去好来の歌、沈痾自哀文、他
- ⑪ 3月1日 697～906番 館長 小野 寛  
児らを思ふ歌、男子古日を恋ふる歌、他

## 古代を学ぶ 全8回・15単位 すべて日曜日

●講師 万葉歴史館研究員

日本古代史や越中万葉を中心とする『万葉集』に関して、文学・歴史など多様な視点から問題をとりあげていきます。

- ① 4月29日 家持が越中に来たころ 主任研究員 関 隆司  
… 5月休み …
- ② 6月24日 「汲みまがふ」再考 主任研究員 新谷秀夫  
… 7月休み …
- ③ 8月26日 5世紀の日本と東アジア 学芸課長 川崎 晃
- ④ 9月30日 家持一名を記さぬ娘子への恋歌一 研究員 川崎重朗  
… 10月休み …  
… 11月休み …
- ⑤ 12月16日 亡妾悲傷歌 研究員 梅原輝之
- ⑥ 1月27日 古代の漬物について 学芸課長 川崎 晃
- ⑦ 2月24日 衣が紡ぐ万葉の恋歌 研究員 田中夏陽子
- ⑧ 3月23日 文室智努と仏足石記 学芸課長 川崎 晃

※やむをえぬ事情により日程・講義内容等に変更がある場合もあります。  
※申し込み・受講は年間を通じていつでも可能です。  
※学習講座を試聴されたい方は、お気軽に高岡市万葉歴史館までお出で下さい。(1回500円)  
※お知らせ頂いた個人情報、受講の通知・講座日程の変更通知に必要となります。  
これ以外の目的に使用する事はありません。

## 大伴家持とともに

●講師 館長 小野 寛 全10回・20単位  
すべて金曜日

越中万葉は大伴家持とともにあります。万葉集は大伴家持によってまとめられました。そして万葉集は大伴家持とともに今に生き続けているのです。その万葉集に大伴家持とともにここ越中の地でよまれた歌が337首も残されています。その歌をよむことは家持とともに越中に生きることです。これからも家持とともに生きつづけていきましょう。

- ① 4月20日 …5月休み… ② 6月15日 ③ 7月20日  
…8月休み… ④ 9月21日 ⑤ 10月19日 ⑥ 11月16日  
⑦ 12月14日 ⑧ 1月18日 ⑨ 2月15日 ⑩ 3月21日

## 古事記をよむ 全3回・5単位 すべて日曜日

●講師 名誉館長 大久間 喜一郎

日本最古の歴史書としてだけでなく、文学的にも魅力的なエピソードが数多く描かれている古事記には、神々から天皇を中心とする古代人の喜怒哀楽が凝縮されています。古事記を精読し、古典の不思議な魅力と、古代日本人の生き方について探求していきます。内容は、昨年度の続きですが、はじめて講義を受けられる方にもわかりやすくお話いただきます。

資料はこちらで用意いたしますが、倉野憲司校注『古事記』(岩波文庫)をご持参くださいますと便利です。

- ① 5月27日 ② 7月29日 ③ 11月25日

富山県生涯学習カレッジ連携講座

### 入門講座 越中万葉に親しむ

**日 時** 毎月第2日曜日 (全11回※8月は休み) 午後1時30分～3時  
**会 場** ウイング・ウイング高岡 (JR高岡駅正面口目の前)  
 高岡市生涯学習センター5階研修室501  
**講 師** 高岡市万葉歴史館館長および研究員  
**定 員** 40名 (先着順。申し込み多数の場合は新規受講者優先となります。)  
**申し込み期間** 平成19年3月7日(水)～3月31日(土)  
 ※定員に達しない場合は、締め切り後も受け付けます。  
 結果は4月1日(日)に全員にハガキを発送いたします。  
**受 講 料** 2,500円 (全11回・資料代含む。初回受付でお支払いください。  
 お釣りのないようご協力お願い致します。)

**認定単位** 15単位 ※講義内容は、昨年度と同じ内容です。

**申し込み先** 高岡市万葉歴史館

講座名と、郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・電話番号・交通手段(電車・バス・自家用車等)を、ハガキ・電話・FAX・E-mailなどで下記にお申し込みください。高岡市万葉歴史館受付でも申し込みます。(生涯学習センターでは受付していません)

**高岡市万葉歴史館**  
 〒933-0116 富山県高岡市伏木一宮1-11-11  
 電話0766-44-5511 FAX0766-44-7335  
 E-mail manreki@office.city.takaoka.toyama.jp

